

令和7年度 第3回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和7年6月19日（木）午後2時～午後3時30分

■場 所：府中駅北第2庁舎6階小打合せ室

■出席：（敬称略）

（委員）（6名）石川 伊智郎、浅田 多津子、杉村 康之、西尾 克人、
藤間 利明、室 英治

（事務局）（4名）柳下 豊宏、田口 敦、熊谷 一茂、青木 大地

■欠席：（敬称略）

（委員）（2名）塚原 仁、竹嶋 仁

■議 事

1. 報告

① 令和7年度 第2回検討調整会議事録・・・

- ・議事の中で、今後のセンターの役割として「予算の算段がつけば、新しい取組みも行いたい」という内容が示されているが、その取組みとは何を指すのか。⇒広報と資金援助は特に力を入れつつ、これまでのセンター事業も継続し、新たな講座等も加えていきたいというものである。
- ・その他の内容について了承。

② 夏休み親子かんきょう塾について・・・

行き先は「山梨県」に決定した。具体的な見学先としては、「夏狩湧水群（太郎・次郎滝、長慶寺）」と「山梨県立リニア見学センター」であり、昼食場所は「道の駅つる」を予定。8月1日号広報にて参加者募集を行い、募集要項は昨年度と同様にする。申込多数となった場合には抽選を行う。

※夏狩湧水群はガイド不在のため、事務局職員が参加者へ案内を行う必要あり。事務局にて下見を実施する予定であるが、ほかに湧水群について知見があり案内できる方がいれば、紹介願いたい。リニア見学センターは展示パネルや常駐スタッフもいるため、ガイド不要。なお、当日のリニアモーターカーの走行試験実施有無については、直前の公開となるため、現状不明。

③ その他・・・

第1回かんきょう塾の申込期限を6月25日まで延長することとなった。現時点で20名超の申込を受け付けている。申込時のアンケート（環境基本計画に基づいたテーマ）を元に、グループ活動の班分けを検討中。第3回かんきょう塾については8月9日に開催することが決定し、仮テーマは「世界と日本のゴミ問題の現状や違い～JICA 海外協力隊・環境教育（スリランカ）隊員と一緒に考える～」となっている。

※第1回以降、当日の飛び込み参加者をどのように対応するか確認あり。申込者は名簿に沿って受付を行い、飛び込み参加者については事務局が個別に対応することとなった。

2. 議事

① 活動センターの運営方法について・・・

前回の検討調整会にて事務局が提案した運営方法に対して、委員より以下のとおり意見がなされた。

- ・センターの委託化によって、課題は解決されるのか。委託化の意義とは。
⇒まずは市がセンター機能を完成形に持っていき、そのうえでクオリティ維持・向上のために委託化するという認識。向上性を図るためには専門的な機関への委託が適していると考えており、市はそれをバックアップする。センター事業がより魅力的なものとなれば、ヒトも集まるのではないかと。
- ・他の部署で環境に関連のあるイベントを実施する際に、センターでそれらの広報をまとめて担うことで、情報集約が可能になるとともに、他部署の負担減にもつながるメリットあり。(事務局としての意見)
- ・センターの役割が広範囲に及ぶため、改めて担当範囲を明確化したほうがよいのではないかと。⇒センターの役割は、市民の環境意識向上を目的とした啓発活動が主であると考えている。そのため、広く情報を収集する必要がある。
- ・センターの括りをどうすべきか。他部署の範囲にどこまで踏み入り、活動支援や講座の開催につなげていくのか。⇒主に資源循環推進課と公園緑地課の職員と連携することで、環境政策課で直接担当していない分野も対応できるのではないかと考えている。形として、武蔵野公園パートナーズが関係者を集めて定期開催している「浅間山を考える会」を参考。
- ・委託化を検討するのであれば、ロードマップを作成したほうがイメージしやすいのではないかと。また、委託化には移行期間が必要であり、委託先でできること・できないこともまとめておく必要あり。過去に他市の実現状況を視察した際の記録があれば、次回検討調整会にて共有願いたい。
- ・委託してセンターが良くなるとは限らない。市と委託先との軋轢や、そもそも委託先の事業者にとって都合の良いセンターになってしまわないか懸念あり。委託すること自体について、もう少し懐疑的になったほうがよい。市民協働の考え方に基づき、現在の検討調整会メンバーを軸としたNPO法人設立等、新たなイメージも視野に入れるべきである。センターの継続性・向上性を確保するための最善策をあらゆる角度から考える必要あり。

② その他

特になし。

4. その他（次回検討調整会について）・・・

次回開催は令和7年7月16日（水）午前10時半～決定。開催場所については、後日青木から委員へメールでお知らせすることとなった。